

中村さん 世界第14位

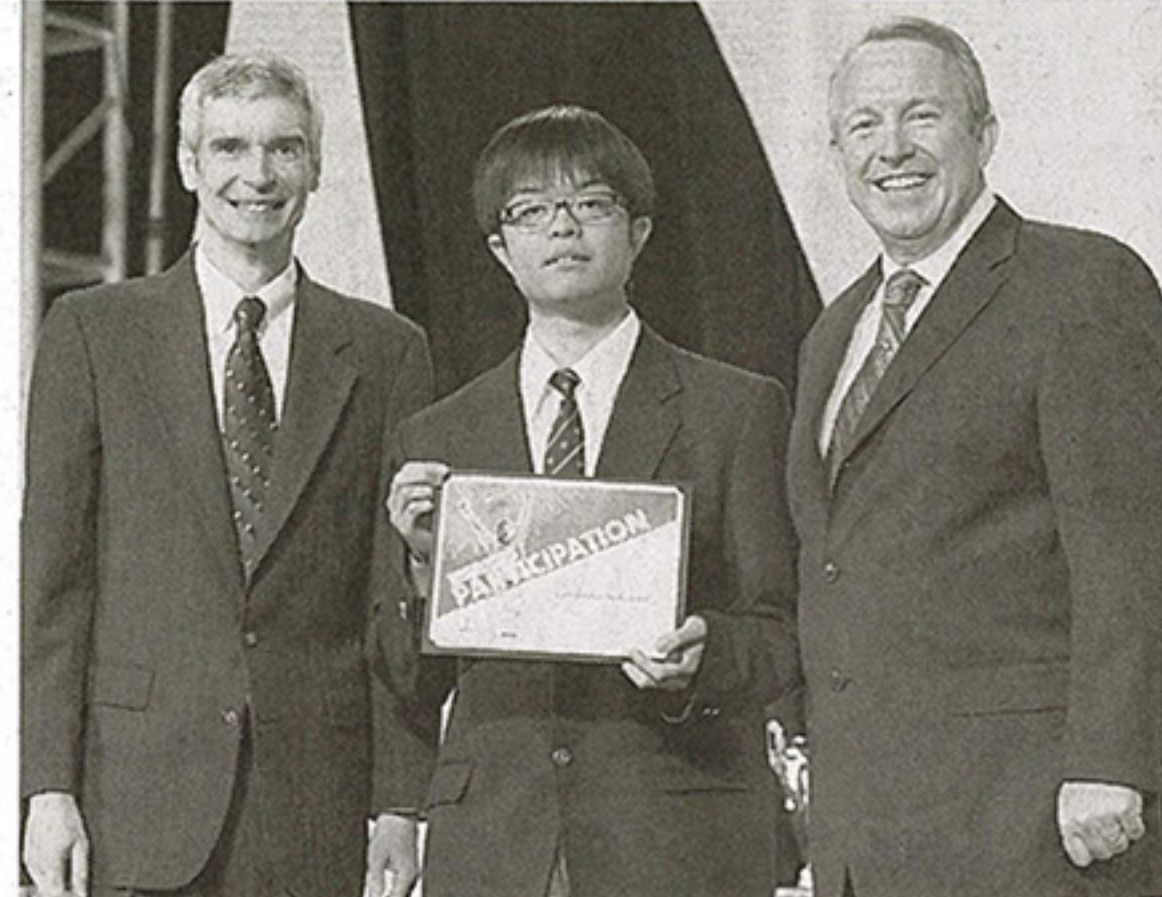
パソコン操作のエクセル部門で好成績

ワード、エクセル、パワーポイントのパソコン操作を競う「MOS世界学生大会2012」が7月31日、米ラスベガスで行われ、日本代表の富良野緑峰高校3年、中村彰宏さん(17)が表計算のエクセル2010部門で14位に入賞する好成績を収めた。世界53か国から延べ52万人の学生が出場する中での入賞という素晴らしい成績だった。同大会は国際的に活躍できる人材育成を目的にマイクロソフトから委託を受けた米社が開いており、今年で10

回目。オフィスに組み込まれているワード、表計算、図・文字表示の3種ごとに要求された操作を早く確実にこなすかを競う。日本では延べ6万5000人が世界大会出場に向け実力を競い合っている。中村さんは世界大会出場の際、能登芳昭市長から特別奨励賞が授与されている。渡米前に中村さんは「世界大会に向

け怠らず、パソコン操作の技術を磨いてきた。世界チャンピオンになりたい」と意気込みを話していた。世界大会は7月29日から8月1日(米国時間)にかけて開かれ、31日に決勝戦に臨んだ。中村さんは試験以外でも各国の若者と交流し、観光地を訪れるなど見聞を広めたとい

う。同大会は、大学入会人として必要なスキルを高める人材育成を目的として開催されている。日本大会では6万5000人がエントリーした。中村さんはエクセル部門において第1次選考で満点の1000点を挙げ、さらに2次選考の論文でも高得点の成績を収め、高校生としてただ1人、北海道初となる代表に選ばれた。決勝戦は今年29日から8月1日(現地時間)にかけてアメリカラスベガスで開催される。こうした中村さんの活躍に対し富良野市が初めての特別奨励賞を設置し、表彰した。能登芳昭市長



世界学生大会決勝戦で入賞した中村さん(中)

富良野緑峰の中村彰宏さんに 富良野市特別奨励賞を授与

世界学生パソコン大会日本代表の功績称える

富良野市は24日、マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)世界学生パソコン大会決勝戦日本代表に高校生としてただ1人選ばれた、富良野緑峰高校情報ビジネス科3年、中村彰宏さんに「富良野市特別奨励賞」を授与、同世界大会での活躍に大きな期待を寄せた。

同大会は、大学入会人として必要なスキルを高める人材育成を目的として開催されている。日本大会では6万5000人がエントリーした。中村さんはエクセル部門において第1次選考で満点の1000点を挙げ、さらに2次選考の論文でも高得点の成績を収め、高校生としてただ1人、北海道初となる代表に選ばれた。決勝戦は今年29日から8月1日(現地時間)にかけてアメリカラスベガスで開催される。こうした中村さんの活躍に対し富良野市が初めての特別奨励賞を設置し、表彰した。能登芳昭市長



能登市長から富良野市特別奨励賞を授与された中村彰宏さん

とを期待しています」とあいさつ。また北猛俊市議会議員も「ぜひ世界一になって下さい」とエールを送った。これに対して中村さんは「高校生として選ばれても嬉しい。まさかの日本代表でびっくりしています。世界大会に向け、怠らず取り組んできました。世界チャンピオンになった富良野に帰ってきたんです」と意気込みを語った。

が賞状を授与し、「富良野市にとって大変名誉なこと。全国6万5000人の中から選ばれたことは大変素晴らしい。高校生をはじめ小中学生に大きな励みとなると思います。世界大会では優勝することを期待しています」とあいさつ。また北猛俊市議会議員も「ぜひ世界一になって下さい」とエールを送った。これに対して中村さんは「高校生として選ばれても嬉しい。まさかの日本代表でびっくりしています。世界大会に向け、怠らず取り組んできました。世界チャンピオンになった富良野に帰ってきたんです」と意気込みを語った。

目指すは世界一

パソコン大会で日本代表

富良野緑峰高の中村彰宏さん

マイクロソフト社公認の国際資格「マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS試験)」の受験者対象とした世界規模のパソコン大会「MOS世界学生大会2012決勝戦」に、富良野緑峰高校情報ビジネス科3年の中村彰宏さん(17)が日本代表の1人として出場する。中村さんは1次選考、2次選考を通過し、全国の高校生、専門学生、大学生など延べ6万5000人の中から、北海道初となる日本代表に選ばれた。世界大会は今年29日からアメリカのラスベガスで開催される。



高校生として国内代表となった中村さん

同大会は、学生を対象にマイクロソフト・オフィス・スペシャリスト(MOS試験)を取得し、社会人として必要なスキルを身につけ、さらに卒業後には国際的に活躍できる人材育成を目的に開かれており、今年で10回目を迎える。中村さんは今年3月31日(現地時間)から8月1日(現地時間)にかけてアメリカラスベガスで開催される。こうした中村さんの活躍に対し富良野市が初めての特別奨励賞を設置し、表彰した。能登芳昭市長

をスクリーンに表示させる。ワード、エクセルの3部門とも合格した。特にエクセル部門では満点の1000点をとり、1次選考を通過。そして書類審査、小論文、電話面接などの2次選考が行われた。小論文では「将来の夢」と題し、1200字にまとめて提出し、面接の結果、高校生としてただ1人日本代表に選ばれた。このほかはワード部門で横浜国立大学4年の女子学生、エクセル部門で名古屋経済大2年の男子学生、パワーポイント部門で秋田大学4年の男子学生と同志社女子大学2年の学生の4人。中村さんは10年前の出会いからパソコンの出会いから1年。父親が買ったパソコンに興味を抱いた。そして小学2年の時、パソコン授業が始まり、自然と自由に操作ができるように

なり、特に表計算を行うエクセルが得意になった。中学生の時、このパソコン世界大会が開かれた。家に帰ってみたいと思うようになった。高校に進学してからは毎日パソコン授業があり、本格的にパソコン操作を学んでいくようになった。中村さんは「普段の模範試験でも何度か満点を取ったことがあった。本番でもある程度の自信はあったものの、確信はできなかった。高校生として日本代表

に選ばれ大変嬉しい。世界大会に向け、全ての操作ができるようにさらにレベルアップし、世界チャンピオン大会を目指したい」と世界大会を目前に控え、闘志を燃やしている。MOS試験は国内では300万人以上が受験しており、現在日本各地で実施されている国際資格。試験は全てパソコンを使った実技試験で、要求された操作をどれだけ確実にこなすかを判定する。日本からは2年前のエクセル部門で、昨年ワールド部門で世界チャンピオンが誕生している。